資料１－２

議題１　災害時における医療救護所用の医薬資材について（岡崎市提出）

市名	回答	
	（３）医薬資材の保管場所	（４）医療救護所における医薬資材の取り扱いに関する課題や、今後検討していること
名古屋市	災害時応急用医薬品については、市薬剤師会に対して災害時応急用医薬品の備蓄業務を委託し、本市110か所の中学校区の備蓄薬局において備蓄している。	備蓄医薬品の品目の見直しや後発医薬品への切り替え等について、関係機関とも調整のうえ、随時検討していく必要があると考えている。
豊橋市	（２）に記載のとおり、処置室となる保健室に保管している。	本市は応急救護所を24か所設置している。24か所の設置時期が違うこともあり、医療資材の使用期限が応急救護所ごとに違う。使用期限が切れないよう更新していく必要があるため、在庫調査、管理に時間を要する。また、今年度のように、医薬資材の入手が困難な場合は、必要な物品の購入ができず、使用期限が切れるため、ある一定期間欠品の状況にならざるを得ない状況になる。在庫管理の方法について検討する必要がある。
岡崎市	議題提出市	議題提出市
一宮市	医薬資材の品質維持のため、処置室及び保健室の暗所で保管している。	・医薬資材によって使用期限がまちまちであるため、管理が煩雑となる。 ・多くの職員が災害による医療救護を経験していないため、災害現場での適切な行動に不安がある。（現場力）
瀬戸市	休日急病診療所内に医師の指示のもと保管予定です。	医療救護所の課題は、医療資材も含め、設置手順や人員確保など、全体に検討していく必要があります。
半田市	保健室至急	感染症に関連する救護所用資材について、医薬資材等の拡充やそれに伴う保管用倉庫の設置等を今後医師会等に相談の上検討していく。
春日井市	（２）に記載のとおり	春日井市では、医療救護所は必要に応じて防災拠点及び避難所に設置することとしています。そのため、医薬品以外の救護所用資材については、防災拠点に少量の備蓄はしていますが、スペースが狭小であり資材拡充が難しいことが検討課題となっています。
豊川市	（１）に記載のとおり	（１）に記載のとおり
津島市	医療救護所設置予定の小学校の保健室	・資材が増えた場合の保管場所 ・市販薬の活用
碧南市	医療救護所設置予定の小学校の保健室等と保健センター内	現在、医療救護所運営の変更について、医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護師会と市民病院で検討中であり、医薬資材の品目・量、保管方法についても課題としている。
刈谷市	本市では、市内５カ所の小中学校を救護所に指定している。各校の保健室に薬品庫を設置し、保管している。資機材については、物置を校舎近くの屋外へ設置し保管している。	期限が切れた薬品について、現在は廃棄を行っている。期限切れ薬品の在庫管理等も煩雑なため、ローリングストック方式等により、薬品を廃棄することなく循環する仕組みが作れないか検討している。
豊田市	医療資材は防災倉庫内、医薬品は交流館建屋内で保管	豊田市では、災害時に応急救護所を14か所の交流館、支所に開設する計画です。 配備する医療資材の品目は委員会等で検討を行っていますが、数量については十分な検討が行われていません。多数の品目を配備していることから、日常管理や更新作業の負担が大きくなっています。また、更新に係る当初予算の確保が難しくなっています。
安城市	医療救護所指定中学校４箇所・公民館１箇所の防災用医薬品専用庫（キャビネット）。 設置場所は全て屋内。教室や倉庫、ロビーなど様々。	・（２）の温度管理。舌下薬など温度管理が特に必要なものの取り扱い。 ・（２）の医薬品の更新作業。準備から各箇所更新までかなりの時間を要するため、安全性と効率化を検討したい。 ・感染症対策としてPPE（マスク等）の選別及び収納スペースの確保。
西尾市	市内10か所の小中学校を救護所としている。学校には、建物外の資機材庫には置かず、主に保健室などの室内で保管するように依頼している。	特になし
蒲郡市	これまでは、コンテナ内に保管していたが、コンテナ内が高温になるなどの問題点から、現在は救護所設営施設である市内中学校と協議し、保管場所を決めている。	市は薬剤師会と医療救護所に関して協定を締結しているので、随時の薬品の備蓄について相談をし適切な保管、取り扱いについて協議をしていく必要がある。大規模災害時は薬剤の不足も予測されるため、ローリングストック等多方向からの支援も考えていく。
犬山市	医薬品は備蓄用には保管していません。当初は休日急病診療所内の薬品庫内の備蓄で対応します。また、三師会との災害協定により、医薬品等の供給（費用弁償）への協力や薬剤師会には保管・管理を依頼しているため、発災時に協力を仰ぎます。 衛生材料は診療所の倉庫や診察室内に保管。	救護所での医薬資材の保管や取り扱いに関するマニュアルを作っていないため、今後作成を検討します。 また医師会、歯科医師会、薬剤師会と災害協定を結んでいますが、見直ししていないため、実状に合った内容にしていくことを検討しています。
常滑市	屋外の防災倉庫に保管	資材の保管場所等については医療救護所が設置される予定の施設（学校、体育館）と話し合い必要があると考えています。消毒等についても品質管理ができること、在庫の管理ができるよう検討していく予定。
江南市	各救護所（中学校）の屋外（防災）倉庫に保管	なし
小牧市	医療救護所４箇所（小牧小学校、東部市民センター、北里市民センター、味岡市民センター）	特になし。

資料１－２

議題１　災害時における医療救護所用の医薬資材について（岡崎市提出）

市名	回答	
	（３）医薬資材の保管場所	（４）医療救護所における医薬資材の取り扱いに関する課題や、今後検討していること
稲　沢　市	屋外の防災倉庫（場所によっては日中換気扇稼働）、小中学校の保健室	備蓄は一般的な医薬資材のため、持病のかた、特別な症状の方には対応できないことが課題
新　城　市	今後の課題	関係機関との調整・連携が課題と考えます。
東　海　市	救護所となる各中学校に応急手当て用物品は保管（今年度内容更新予定のため、現在一時的に保健福祉センターに集約管理している）。薬剤は市内の薬局でローリング備蓄をしている。	新型コロナ感染症対策を想定した資材の選定
大　府　市	保健センター	・医薬資材の内容や量についての再検討、感染症対策物品の補充が必要だと感じている。 ・医療救護所の設置方法や医師や看護師の調整ができていない状況。医師の参集方法、薬剤の備蓄方法、医療ボランティアの受け入れ等課題が多い。医師や市職員に市内在住者が少なく、夜間や休日に発災した場合に人手が確保できるか心配である。発災後、参集職員１人ひとりが適切な行動ができるようなマニュアルの作成や職員への研修が必要だと感じている。
知　多　市	協定により、調達してもらうため市で直接保管していない。	地域防災計画に基づき、協定を締結しているが、医薬資材の内容の見直しをどのようにするかなどは具体的に決めていない。
知　立　市	市内３箇所の医療救護所で、保健室が本部となるが、保健室の近くの倉庫にそれぞれ医療資材が保管されている。	医療救護所のうちの一つの医療救護所では、薬品の保管場所が倉庫内であるが、外と面しており、温度も上がりやすいため保管場所の検討が必要である。また、薬品の種類についても、平成28年度から変更しておらず、防災訓練の際に現場の医師や薬剤師よりさらに医薬資材についての要求もあり、内容について医師会や薬剤師会と共に検討していく必要が有る。
尾 張 旭 市	①で保管するとすれば医薬材料室となりますが、広さ（7.9㎡）が不十分な状況です。 ②休日急病診療所と調整していく予定です。	医療救護所の課題は、医薬資材も含め、設置手順や人員確保など、全体に検討していく必要があります。
高　浜　市	（２）に同じ	医療救護所は市内2か所の中学校に開設予定だが、医薬資材の保管場所である病院から各中学校へ迅速に搬出できるよう、運搬の面で課題がある。
岩　倉　市	現在検討中	
豊　明　市	医療拠点となる保健センターにおいて備蓄管理している。	新型コロナウィルス感染症対策の継続を想定し他分野も合わせての全体的な備蓄規模、内容の洗い出しに着手した。
日　進　市	保健センター内、市役所防災倉庫、市内小中学校内防災倉庫	医療救護所運営マニュアルに沿った訓練実施を予定
田　原　市	保健室や事務室など温度や湿度に配慮した場所に保管している。	医療救護活動の担い手となる医師や看護師に、医薬資材の品目や量が適切であるかを事前に確認してもらう機会をもてていない。
愛　西　市	【八開診療所】薬局・注射室・施設内倉庫	【八開診療所】診療所で診療用に備蓄している分であるため、救援物資が届く間の応急的な分しか出せない。また、大量に置くにも場所の問題や使用期限の問題があるので、今後検討が必要。 【健康推進課】今後備蓄に当たっては、使用期限の管理が必要となる。
清　須　市	医療救護所開設予定施設(清洲保健センター)の所定の棚に保管している。	医薬材料が内科的薬剤が中心なので、外科的衛生材料を含めることを、薬剤師会と検討している。
北名古屋市	緊急時に誰でもが運び出せる倉庫に保管	薬剤師が営む薬局（主に調剤薬局等）が保有し流通している医薬品の在庫（ランニング備蓄）とその供給についての協力要請について、薬剤師会と協定を結んでいる。 しかし、現在の内容は調剤薬局の性質上内科的な薬剤のみとなっている。市として応急処置等に利用できる薬剤や衛生材料にも拡充を希望しているが進んでいない。
弥　富　市	保健センター内	保管場所を医療救護所に保管できるとよい。（総合社会教育センター) 新型コロナウイルス感染症状況下における救護所運営を検討していく。
み よ し 市	みよし市内4か所の中学校防災倉庫	・防災安全課の「みよし市避難所運営マニュアル」との整合性を図り、訓練等を実施することで、災害時に迅速に対応できるようにすること。
あ　ま　市	保健センター内（３か所)	医薬品については、有効期限があるため大量の備蓄はできない。地区３師会との協定により、医療救護所に参集する際に、各会員が保有する医薬品を携行することになってはいるが、外傷処置の薬剤の不足が考えられるため、購入した場合、廃棄処分等無駄にない方法がないか苦慮している。
長 久 手 市	保健センター内のワクチン庫（温度管理されている部屋）で行っている。	現在は、医療資材が納品された状態のまま段ボールで保管しているため、避難所等に出向く際に必要な医薬資材を持ち運ぶ物がないため、バッグ等の購入を検討している。